

第2回 市民と議員の懇談会

報 告 書

(平成 23 年7月 26 日～7月 31 日)

奥州市議会市政調査会

目 次

ページ

1 実施要領	1～2
2 開催状況	3
3 各班報告書	
第1班報告書 伊手地区センター、若柳公民館	4
第2班報告書 羽田公民館、衣川山村開発センター	5
第3班報告書 佐倉河公民館、梁川地区センター	6
第4班報告書 稲瀬地区センター、胆沢愛宕地区センター	7
第5班報告書 白山公民館、水沢南公民館	8
4 テーマ「防災のまちづくりについて」による懇談内容	9～19
5 自由懇談「分野別意見、要望等」	
総務常任委員会所管に係る意見、要望等	20～27
教育厚生常任委員会所管に係る意見、要望等	27～30
産業経済常任委員会所管に係る意見、要望等	30～31
建設環境常任委員会所管に係る意見、要望等	32～36
議会に対する意見、要望等	36～43
6 まとめ	44

平成 23 年度市民懇談会実施要領

1 趣旨

市民との多様な意見交換の場、議会が持つ情報の発信の場として、市民懇談会を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見・提言・批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 名称「市民と議員の懇談会」

3 実施主体

- ・ 奥州市議会市政調査会

4 会場、開催月日及び担当班

区	会場	月 日	担当班
水沢区	水沢南地区センター（公民館）	7月31日（日）10時00分	5班
	佐倉河地区センター（公民館）	7月26日（火）18時30分	3班
	羽田地区センター（公民館）	7月27日（水）18時30分	2班
江刺区	伊手地区センター	7月26日（火）18時30分	1班
	梁川地区センター	7月28日（木）18時30分	3班
	稲瀬地区センター	7月27日（水）18時30分	4班
前沢区	白山地区センター（公民館）	7月26日（火）18時30分	5班
胆沢区	若柳地区センター（公民館）	7月27日（水）18時30分	1班
	胆沢愛宕地区センター（公民館）	7月28日（木）18時30分	4班
衣川区	衣川地区センター （山村開発センター）	7月28日（木）18時30分	2班

- 1 地区センター単位（市内 30 か所）とし、1 年に 10 か所、3 年間で全地区を回る。
- 2 2 時間程度の開催時間とする。

5 内容

(1) 報告事項

- ・ 6 月議会の報告
- ・ 平成 22 年度実施した結果の報告

(2) 懇談内容

① 今回のテーマ「防災のまちづくりについて」

- ・ 東日本大震災の被災状況と議会の取り組み
- ・ 防災の心がけ
- ・ 災害への対処、発生したときの対応の仕方
- ・ 支援の方法
- ・ 自主防災組織のあり方

② 自由懇談

- ・ 議会に対する意見要望
- ・ 地域における諸課題等

6 班編成

(1) 班は5班とし、所属常任委員会、会派及び出身区等を考慮し別紙のとおりとする。

1班 7人、2班 7人、3班 7人、4班 6人、5班 6人

(2) 各班に代表者（班長）をおき、準備及び当日の役割分担を行う。なお、質疑に対する答弁は全議員で行う。

- 役割分担
- ・ 班長 1名（挨拶）
 - ・ 司会進行 1名
 - ・ 説明係 1名（議会報告）
 - ・ 記録係 2名（まとめ、記録は全員が行う）
 - ・ 受付係 1～2名（開会後は事務局で行う。）

7 周知方法

- (1) 広報、市議会だより及びホームページに掲載する。
- (2) 地区センターを通じて、地区振興会等各種団体に呼びかけてもらう。
- (3) 対象地域にチラシを配布する。
- (4) 地元議員は参加の声を率先して行う。

8 記録

- ・ 市民懇談会の内容は、要点記録とし、録音する。

9 その他

- (1) 各班は、懇談会終了後班毎の質疑、要望事項等懇談内容を報告書にまとめ、会長に報告する。
- (2) 市政調査会において班毎の報告、懇談会の成果・効果等について反省総括をする。
- (3) 質問・要望等で重要なものは、常任委員会毎に調査、市側との協議等に取り組むものとする。
- (4) 懇談会の内容、対応・処理等の結果については、市議会だよりに掲載する。
- (5) この要領に定めるもののほか、市民懇談会の運営に必要な事項は会長が別に定める。

2 開催状況

(1) 開催日時等

開催月日	会場	参加者（人）		
		男	女	計
7月26日（火） 18：30～20：30	水沢区・佐倉河公民館	17		17
	江刺区・伊手地区センター	26	3	29
	前沢区・白山公民館	13	1	14
7月27日（水） 18：30～20：30	水沢区・羽田公民館	16	3	19
	江刺区・稲瀬地区センター	21	1	22
	胆沢区・若柳公民館	15	1	16
7月28日（木） 18：30～20：30	江刺区・梁川地区センター	20	3	23
	胆沢区・胆沢愛宕公民館	9	2	11
	衣川区・衣川山村開発センター	11	3	14
7月31日（日） 10：00～12：00	水沢区・水沢南公民館	19	1	20
		167 (116)	18 (18)	185 (134)

（ ）内 平成22年度

(2) 役割分担・班名簿

	1班	2班	3班	4班	5班
開催日 会場	7月26日 伊手 地区センター	7月27日 羽田公民館	7月26日 佐倉河公民館	7月27日 稲瀬 地区センター	7月26日 白山公民館
	7月27日 若柳公民館	7月28日 衣川山村開発 センター	7月28日 梁川 地区センター	7月28日 胆沢愛宕 公民館	7月31日 水沢南公民館
班長	佐藤 克夫	新田 久治	菊池 嘉穂	及川 善男	遠藤 敏
進行係	佐藤 邦夫	三宅 正克	千葉 悟郎	佐藤 修孝	及川 梅男
説明係	今野 裕文	内田 和良	千田美津子	関 笙子	佐藤 郁夫
記録係	菅原 由和	高橋 政一	小野寺隆夫	千葉 正文	三ノ宮 治
	小野寺 重	菅原 明	菅原 哲	加藤 清	藤田 慶則
受付係	高橋 瑞男	飯坂 一也	菊池堅太郎	菊地 孝男	阿部加代子
	中澤 俊明	中西 秀俊	小野 幸宣		

第2回「市民と議員の懇談会」第1班報告書

1 開催月日	平成 23 年 7 月 26 日 (火) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 36 分	平成 23 年 7 月 27 日 (水) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 38 分
2 会場	伊手地区センター	若柳地区センター
3 参加者数	29 名 (内訳 男性 26 名 女性 3 名 議員・職員 名)	16 名 (内訳 男性 15 名 女性 1 名 議員・職員 名)
4 出席議員	班長 佐藤 克夫 議員 進行係 佐藤 邦夫 議員 説明係 今野 裕文 議員 記録係 菅原 由和 議員、 小野寺 重 議員 受付係 高橋 瑞男 議員、 中澤 俊明 議員	
5 欠席議員 議員 議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

(1) 昨年度と比較をすれば、参加者数は増加しているが、十数名という会場もあり、まだ少ない状況である。声掛けや広報の方法等参加者を増やす工夫が更に必要である。

(2) 大変多岐に亘る多くの要望や意見が出された。これらを今後どのように反映をしていくか、具体的な取組み方法の検討が必要である。

(3) 市民にとって身近な「福祉」や「教育」がほとんど話題にならなかった。次回以降のテーマのひとつとして検討してはどうか。

.....

第2回「市民と議員の懇談会」第 2 班報告書

1 開催月日	平成 23 年 7 月 2 7 日 (水) 午後 6 時 3 0 分 から午後 8 時 3 0 分	平成 23 年 7 月 2 8 日 (木) 午後 6 時 3 0 分 から午後 8 時 3 0 分
2 会場	羽田地区センター	衣川地区センター (山村開発センター)
3 参加者数	1 9 名 (内訳 男性 1 6 名 女性 2 名 議員・職員 1 名)	1 4 名 (内訳 男性 1 1 名 女性 3 名 議員・職員 名)
4 出席議員	班長 新 田 久 治 議員 進行係 三 宅 正 克 議員 説明係 内 田 和 良 議員 記録係 中 西 秀 俊 議員、飯 坂 一 也 議員 受付係 菅 原 明 議員、高 橋 政 一 議員	
5 欠席議員 議員 議員 新 田 久 治 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

- 準備、後片づけ、印刷物、議員の手持ち資料など事務局の配慮でスムーズに行ったと思う。
- 挨拶、進行、説明の時間配分は良かったと思うが、放射能関連質問が冒頭からあり、防災のまちづくり協議がうすれた。
- 地域における諸課題など、自由な意見交換に主眼がおかれる。回答に困難をきたす。市民は質問したことを聞いて頂いた事に喜びを感じている。質問したことについて、議会は何をしてくれるのかなど、今後の議会、議員行動が注目されていると思う。
- 会場ごとに戸数分、数百枚の案内文を配布しての開催だったが参加者の数が少なく残念だった。せっきくの機会であるので、参集方法の更なる検討が必要ではないかと感じた。

第2回「市民と議員の懇談会」第4班報告書

1 開催月日	平成 23 年 7 月 27 日 (水) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 30 分	平成 23 年 7 月 28 日 (木) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 30 分
2 会場	稲瀬地区センター	胆沢愛宕地区センター
3 参加者数	22 名 (内訳 男性 21 名 女性 1 名 議員・職員 1 名)	6 名 (内訳 男性 11 名 女性 2 名 議員・職員 名)
4 出席議員	班長 及川善男.....議員 進行係 佐藤修孝.....議員 説明係 関 笙子.....議員 記録係 千葉正文議員 加藤 清.....議員 受付係 菊地孝男.....議員.....議員	
5 欠席議員議員議員議員議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

- (1) 昨年に比較し参加者が多く、参加者からの積極的な発言が見られた。とりわけ、議会改革に対する意見が多かったように思う。その中で、議会での改革の取り組みについて、目的や趣旨等が正確に伝わっていない。参加者の感覚・感情からの発言が多かったのではないか。(例えば、検討委員会での検討の順番など)
- (2) 発言が、議員経験者など一部の人に偏りがちになったのではないか。比較的専門的な話題になると、参加者が話しづらくなるように思われる。執行部の市民懇談会でないゆえに難しさはあると思うが、参加者と議員が問題点や課題を共有しながら、行政経験のない方でも、気軽に話せる懇談会となるよう研究する必要があるのではないかとと思われる。

テーマ「防災のまちづくり」の懇談内容等

班	会場	質問・意見・提言等	回答(説明)内容	処理の経過等
1	伊手	<p>3月11日の地震において、停電で電話が使えず、地区センターと市との情報手段が断たれてしまった。</p> <p>伊手地区センターでは体育館が被害にあったが、その状況を伝えることが出来なかった。</p> <p>そのような中、奥州FMでは、避難所として地区センターを利用して欲しいと放送していたが、とても受け入れられる状況ではなかった。</p> <p>①電話が使えない状況の中で、相互に情報をやり取りする手段を設置できないか。</p> <p>②地区センターが使えないという状況をラジオを通じて、地域の方々に把握してもらわないとならない。</p>	<p>大変に貴重なご意見である。このような事実があったことを当局側に伝えるとともに、議会としてもいい方向に進めるよう検討していきたい。</p>	要望
		<p>えさしわいわいネットは、電気が復旧しても見ることが出来ない状況が1日半ほど続いた。災害に対して弱いと感じた。</p>		
1	若柳	<p>震災被災地にボランティアに行き気分を害してきたという話しを聞いた。ぜひ議員の方々にも同行してもらい、対応を見ていただ</p>	<p>奥州市議会でも義援金や物資の支援をしてきたが、今後こういうときに議員がどういうことをすべきか議論することが必要だ。</p>	要望

		きたい。		
1	若柳	地震による市内の被害箇所において、今回被害を受けた要因は何かを押さえておかないと、今後の防災のまちづくりは出来ないと思う。また、金を掛けるところは掛けなくてはならないのではないか。	市が全て金を出してやるということはほとんどなく、国や県の補助を頂きながら物を作ったり、建てたりしているの、求められた要件に合わせざるを得ない。 そこで今回、耐震を考慮した明確な基準を定めるとともに必要な助成制度を作るよう意見書を出した。	
		胆沢区は活断層があるため、将来大地震が起き、胆沢ダムが壊れないという補償はない。万が一決壊したときに、どの程度の被害があるかというシミュレーションをして欲しい。それに基づいて、対策や訓練ということになってくると思う。	議会の中でも問題にされているので、今後とも良く検討していく必要がある。市長は、安全検討委員会とやりとりをしながら対応をしていきたいと言っているの、これに期待したい。	要望
		ダムの安全検討委員会は、学者が3名だが構造物の専門家で、地質の専門家がいなために片手落ちである。総合的に検討するために議員にも動いて欲しい。		要望
		放射能問題に関わって、家畜の排泄物を堆肥に使うのは自粛して欲しいという話がある。その場合、排泄物の処理をどのようにすればいいのか、どこに置けばいいのか、検討をして欲しい。		要望

2	羽田	<p>29日の統一要望がある。黒田助にタンクがある。災害用に自家発電機を要望した。現在の簡易水道揚場の部分。よろしく願いしたい。</p> <p>市水道が止まっても、われわれはタンクに水があればまだ出る。更に自家発電があれば汲み上げられる。</p>	<p>避難所と合わせて飲料水の補給基地がおかれた。電気がなければ、いずれ市水道も来なくなりますよ。</p> <p>3年前の地震で、衣川は10日も水が来なかった。給水車で支援してもらった。そのときの経験から、水道部では災害のマニュアルを作って、今回の地震ではそのマニュアルが役に立った。マニュアルに羽田地区も入れてもらって作っていくべき。</p> <p>羽田では農地の被害があったか。 (災害支援の担当課の説明) ものになるといいですね。</p>	
		<p>米の放射能は大丈夫か。</p>	<p>市で定点観測をしているが、大丈夫とは言えない。ただ、プール等の水は大丈夫とのこと。水田そのものはどうか、水のかかわりかと思う。今なければある程度大丈夫なのかと思う。水が流れてきて溜まるようなところは学校でも高く出ているので、田んぼでも可能性はある。今は市はレンタルした測定器1台で測っている。個人で機器をもっている人も</p>	

			いるのでやってみては。市に要望してみるのも。	
2	羽田	<p>羽田の田んぼの水は、他から流れてくる川の水を集めた水なので濃くなっていないか心配。</p> <p>市から補助はないのか。</p>	<p>今は流通してから騒いでいるが、生産段階からやらなければならないと思う。非常に難しい問題だが、早めに手を打って、生産段階からすることが大事。</p> <p>まだ、委員会では大きく対応はしていないが、今後両JAと懇談等を持ちながら対応していきたい。基準値を超えたとは思っていない。注視していきたい。</p> <p>HPや地区センターで測定結果の張り出しもある。個人的には春先から、普及センターを通じて県南で測ってほしいと言っていた。県では一関から出るまで県南で測っていなかった。あわてて測ってもらえるようになったが、秋口を心配している。今から測って欲しいと思う。岩手日報の記事にあったが、10月から15,000円くらいで買える測定器が出るようだ。コンビニなどで発売されるらしいので参考まで。</p> <p>その辺も話してみたい。</p> <p>個人で測るのもいいが、やはりJAなどの団体で、要所要所に対応するべきだと思う。</p>	

		市は大丈夫か。	売りに出る前に押さえることが必要だと思う。 今調べている最中と聞いている。	
2	羽田	川が大丈夫か心配。水だけで大丈夫なのか。	その辺も気になる。	
		江刺の野菜は大丈夫か。ハウスでは地下水のくみ上げだが大丈夫か。	水道も水源は広い範囲にわたっている。市水道、プールで大丈夫ということなので大丈夫と思いたいが。	
3	佐倉河	農協施設とあるがどういう被害があったのか	カントリーエレベーター、農協支所(前沢)、倉庫等農協施設等の被害である。	回答
		農地被害の数値の単位は何か	筆数である。	回答
		被災地の高速道路を無料とした経緯は何か。また県内の状況はどうなっているか。さらに、免許証所有者の内、何割ぐらいの方が申請しているのか。	国の方針として、3県については被害が甚大であるとして、対応は自治体に一任している状況である。最初矢巾町が実施し、奥州市も全世帯停電になったとして無料化への申請を受け付けることとした。7月13日現在で51,700枚発行している状況である。県内では、住田町以外は発行しているようだ	回答
		道路や農地等被害が相当あるようだが行政としてどのような支援策があるのか。	激甚指定となっていることから国の査定がある。最初は道路の査定があり、一番遅いのが農地のようである。ただし農地については、	回答

			工事費の 10%は自己負担であり、さらに 15%（下限 10 万円）は測量設計費として自己負担となる。そのため、個人で工事をしてしまうケースもある。それ故、市独自でも補助をすべきという議論もしている。いずれにしても国の支援は遅すぎる感がある。	
3	佐倉河	義援金配分の遅れに対して市議会でも意見書を提出しているが、被災地に対して他の自治体からも多くの職員を派遣させるような要請をすべきと思う。（意見）		意見として処理
		停電となった理由は何か。	はっきりしたことはわからない。	後で回答
		この辺の電気はどこから来ているのか		後で回答
		送電会社と発電会社を分けるべきとの議論があるが、市議会としてはどう考えているか。	大きな問題であり、政治的な面もあると思う。市の段階でどうのこうのと回答できる問題ではないが、大事な問題であると認識している。	回答
		市内においても余震などで瓦礫が発生していると思うがその処理について市ではどのように対応されるのか。	市の負担で処理することとしている。ただし既に処理してしまった方もいるので、市では遡って業者と契約して実施することとした。	回答
		宮城・岩手内陸地震の際戴いた義援金が、1 億円ほど余っていると聞いたが、なぜそのようなことがあるのか。	直接市に来たものと、県を通じて来たものがあった。奥州市に直接来たものは大部分使ったが、県を通じて来たものについては、いろいろ縛りがあって使い切れなかったのは事実	回答

			である。	
		本来使い切れなかったものは返すべきで、今回使ってしまうと言うのはどういうことか。	全くその通りであるが、返すところもないというのが正直なところ・・・ このたび県と市と協議の結果、このたびの災害の義援金にしてもかまわないとのことだった。	回答
3	佐倉河	放射線による牛肉への汚染被害が出ているようだが本県において農作物への具体的な被害があるか。	風評被害等で牛肉枝肉価格の暴落など出ている。 今日、県と農協で一戸一戸の農家にいつ集めた稲わらを与えていたかを調査し今後の対応を協議することとなっている。明日にでも結果が発表されると思う。今後議会としても注意深く対応していきたい。	回答
		放射線の測定箇所、またその結果が分かるのであれば教えて欲しい。	定時、定点で観測する箇所は、月 2 回測定する所が 10 カ所、1 回の所が 9 カ所、そのほか、幼児施設、学校関係 83 カ所で測定し、その都度発表している。奥州市もいわゆるホットスポットとなっており、特に雨樋の付近では比較的高い数値になっているところもあり、立ち入り制限しているところがある。	回答
		ホットスポットと言われたが、飛んできて放射線の種類は何か。セシウムであればどれだけの量か。	その量は新聞で公表されている。例として、衣里多目的ホール軒下地上 5 センチの所で、毎時 4.32 マイクロシーベルト。あとはほと	回答

			んど1以下となっている。	
		被害を受けた水沢競馬場は今後どうなるのか	水沢競馬場の被害額は、4億円ぐらいの被害があり、当面は盛岡のみの開催となる。復旧の予算として上部団体からの支援が決定し年内には復旧し走れるようにしたい考えである。	回答
4	稲瀬	・震災の復興対策は	・甚大な被害は発生したことを資料により説明する。	
		・水田の被害状況と復興対策は	・1,300箇所の被害である。13万円未満の被害箇所は国からの支援を受けられないので、市の独自支援で、義援金の3次配分で行う計画である。具体的な対策は今後協議の上進めていく。	
		・自主防災組織の取り組み状況について、特に若い方々は地域以外に勤務しており、災害が起こった場合に残った人がどの様な対応・体制をとればいいのか、市の支援をお願いしたい。	・自主防災組織を高めていく。	

		<ul style="list-style-type: none"> 放射能に対する国の基準は、1 ミリシーベルトと思われるが市が 20 ミリシーベルトとする根拠は何か。 市民に情報を早く明確に出すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 市では 80 数箇所を測定、衣川区の 1 箇所で 20 ミリシーベルトを越えている箇所があった。20 ミリシーベルトを基準とする根拠、あるいは 1 ミリシーベルトにすべきではないかというご意見は、市に報告して検討していただくように話す。（なお、市に要望した結果を質問者に回答してほしいとの要望があり、回答するとした。） 	
4	稲瀬	<ul style="list-style-type: none"> 有線が無くなり、地域防災情報を整備してほしい。 	[要望]	
		<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難場所でもある地域センターが、がけ崩れ危険地帯に指定されており、改善をお願いしたい。 	[要望]	
4	胆沢愛宕	<p>震災に伴う被災者の高速道路使用無料化により出口が混雑している。そこで、混雑を解消するため、ETCを使用し千円以上は無料という制度に改められないか。</p>	関係機関と協議する。要検討。	
		<p>震災に伴って通行止めを行っている看板に、何で通行止めなのかの理由を書くべきではないか。（立体交差になっている場所で、一方は通行でき、一方は通行止めである。）</p>	指摘の内容で改善する。	
		<p>自主防災組織の事例があれば、紹介してほしい。部落で防災訓練等の話が出るが、なか</p>	議員から前沢区の状況、胆沢区の消防団〇Bにおける活動、江刺区の桜木団地の活動の	

		なか進まない。	紹介があった。	
		自家水の家庭が多く、停電による断水への対応として発電機の必要を感じた。	先の岩手宮城内陸地震の際、各公民館に発電機を配置するとの構想もあった。 (特に、結論付けをしなかった。)	
5	白山	避難するとき玄関・柱に行く先を書いておくのも大事ではないか		
		避難場所に自家発電機があったので助かった。よその地区でもあったのでしょうか。	岩手・宮城内陸地震のときに義援金でもらった発電機が各地区センターに配置になったはずである。	
		郵便局の集配センターに勤めているが、避難所にいる人々を把握すればよかったなあと 思う。そうすればそちらに郵便物を届けられたと思う。また、避難所で食事制限があった、消灯時間の制限があった。と聞いている。非難している方に温かい配慮があってもよかったのではないか、		
		避難所が出来たことにより、デマがとびか った。避難所にいけばご飯が食べられるとい うデマもあった。		
		数年前に陥没した所が、今回も被害を受け た。市道の部分は復旧した。胆沢平野の部分 は手をかけられない。関係機関と協議の上、 前向きに手当をして欲しい。	現場を把握して関係機関に話をしたい。	後日解決済み

5	白山	<p>再来年、小学校統合により小学校が新築されるが、シャワー室、ソーラー室があるのか？</p>	<p>具体的な話はされていない。</p>	
		<p>震災のとき、衣川中学校ではシャワー室が使えなかった。前沢小学校が新しくなるのでシャワー室、電気、付帯設備としてつけていただけか、避難所として使われるので、公共施設を兼ねた施設として欲しい。</p>	<p>教育厚生常任委員会の議員にもしっかり伝えておきたい。</p>	
		<p>基本設計は出来ている。来年から建設予定。前沢中学校は、温水シャワーは設置されているが、停電になると使えない。検討委員会として、先ほどの話をつないでいきたい。私達は諮問を出すだけで、議員のバックアップがほしい。</p>		
5	水沢南	<p>市の防災計画、公民館に発電機があったことも知らない、給油所など南地区の防災計画を見直しも必要。</p>	<p>自主防災組織については、地域地域で色々な対応があったと思います、市のほうでもそれぞれの地域でどんな対応をしているのかという想定があって、計画を立てるべきなので、早めのチェックが必要だと思います。</p>	

総務常任委員会所管に係る意見、要望等

班	会場	質問・意見・提言等	回答(説明)内容	処理の経過等
1	伊手	合併し5年経過したが、地区センター構想が、まだ一定の組織の形に統一がされていない。今後スムーズに移行出来るのか。	それぞれの地域の歩みがあり、まだ統一されていないが、小沢市長は協働のまちづくりを施策の中心としており、その方向に向かっている。今回のまちづくり交付金の活用に工夫がされてくれば、軌道に乗ってくるのではないかと。	
		江刺農協本所脇の岩谷堂小学校予定地として一度買い上げた土地が荒らしましなしくなっている。将来どのように活用しようと考えているのか。	老人施設建設のために半分貸すような話しは聞いている。あと半分は農協で買うとも聞いている。	
		震災被害を受けた伊手地区センターの体育館が未だ復旧されない。これこそ専決で早く直したらいいのではないかと。	対応出来るよう努力してまいりたい。	要望
		山間部に予算配分をして欲しい。高齢化になり、80歳を超えた人も草刈りをしている状況。地域でやるとしても限度がある。		要望
		土地開発公社の問題は、三セク債を使ってでもいいから早く処理しなければならない。保有土地もただ売ればいいというものでもない。議会としてどの程度追求しているのか。	経済状況が厳しく中々売れない。三セク債を活用しないと、更に借金が増えるだけなので借りることになった。議会でも追及はしているが、これまで、ずるずる来たのが現状だ。	
		未婚者が増加している中、出会いの場だけではなく、結婚相談をどのようにやっているの	青年会他各種団体で、婚活事業が行われており、出会いの場、交流の場を設けているが、最	

		か。対策を検討して欲しい。	最終的に結婚まで結びついているかは把握していない状況。各団体取り組みを試行錯誤している。	
1	若柳	国保税は上げれば上げるほど滞納は増えると思う。このような状況では、きちんと支払っている人の納税意欲が低下する。市当局を追求して欲しい。	滞納分はそのまま国保税に跳ね返る制度になっており、大きな問題だ。加入者だけで負担していくことには限界がきていると思うので、国保のあり方については、市民や議員も国・県を巻き込みながら考えていかなければならない。	要望
		税の収納率が低下をしてきていると思うが、市として、如何に向上させていくか、知恵を出し改善して頂きたい。	収納率向上には様々と努力をしてきているが、中々いい方法が見つからない状況である。	要望
		岩手競馬は、収支均衡を条件に存続が決まった。今回の震災で水沢競馬場の被害も大きく、修理費も相当掛かると思うし、現在盛岡だけの開催で収支均衡が保たれるのか。 また、競馬事業調査特別委員会は、どのような調査を行っているのか。	収支均衡は、これまでギリギリ帳尻を併せているのが現状だ。今回の震災部分は、地全協で9割支援してくれることになっている。今のところ計画より10%ほど売り上げが良く、収支均衡が保たれるのではないかという状況である。 特別委員会では、競馬組合の副管理者等呼び、現状を質している。	
		胆沢ダム下流の工事用地として貸している場所を現在埋め戻ししている。当初は公園を作る予定になっていたが、今はそういう状況もなく、ただ埋め戻しているようだ。市として何か	検討委員会において検討していただき、4億から5億円の予算規模で一定の整備はするが、それ以外は整地して返す方向で進んでいる。 地権者の方々に決めて進んでいることでもあ	

		考えていないのか。	るので、今後も地権者と行政、議員が相互に連絡調整しながら進めていかなければならないと思う。	
1	若柳	奥州市の三大課題の土地開発公社、競馬、水沢病院は、全て市から撤退してもらいたい。そう簡単にはいかないと思うが、何かいい方法はないのか。胆沢の人たちには何のためにもならない。	今、競馬を止めるわけにはいかない。これまでの借金返済や整理資金、雇用の問題もあるので、ギリギリ収支均衡を保って乗り越えていかなければならない。 合併した以上、なんとかしようという関係者は努力をしている。議会としてもしっかりチェックしていく。	
		平泉の世界遺産登録に併せて、栗駒国定公園を世界自然遺産に立候補する動きをして欲しい。		要望
		胆沢ダム周辺整備がしぼんできたような感じがする。県のビッグプロジェクトでもあるので、しっかりやってもらい活性化をさせて欲しい。	ダムだけでなく西部の開発は、各区でも大きな話題になっており、活性化に向けた土台を作って欲しいと期待されている。 10月に行われる全国散居サミットに来られた方々に、ダム展望台を紹介し、扇状地の姿とダムのスケールの大きさを見てもらい、アピールしていきたい。	意見
2	衣川	第三セクター債について、公社を廃止することか。負債の97億円はどうなるのか。	廃止して市が肩代わりすること。返済は基本的には10年だが、市は30年で返せるように努力し、毎年の償還は3億円程度。何とか精算	

			したい。	
2	衣川	都市型行政は解るが農村型行政も残して欲しい。(例えば、農村部の医療費の少なさや納付率向上のためコミュニティが大切にされている。また、費用対効果が重要視されるが中山間地にあった考え方の物差しをもって事を進めて欲しい。)	もっともだと思う。	
		衣川総合支所の整備を働きかけて欲しい。	早急に建て替えるべきだと思う。	
		段々に本庁方式に向かっているように見える。住民サービスは悪くなった。本庁では、職員が一杯で入れないと言っている。では江刺に行けばというと合併協定だから水沢から本庁は動かせないと言う。実態は総合支所を分解している。(平成28年には地域協議会がなくなるだけで、支所自体はなくなるはず。)	持ち帰らせてもらう。	
		市はHPに掲載していると言う。不通地域を抱える衣川区はどうしたらいいのか。見られないのではない。回線がない。誤解しないで欲しい。		
		東京事務所に期待していた。打って出るくらいの意気込みがないと。何を希望にやっていけばいいのか。議員からも指導して欲しい。	言われる通り意気込みがないといけないと思う。アイデアを持ってやるべきと、意見を参考にしながら働きかけていく。	

3	佐倉河	リニアコライダーの誘致を積極的に推進すべきと思うがどうか	議員でも筑波大学にある高速加速器について視察見学に行ってきた経緯がある。議会としても大いなる関心を持って臨んでいきたい。	回答
		水不足で困っているが、胆沢ダムの完成はいつ頃か。	平成 25 年といわれている。	回答
3	梁川	国保税の引き上げをされたが、滞納者が増加するのではないかと危惧している。資産割を廃止したことによって、年金暮らしの世帯を直撃しているのではないか。これ以上の引き上げはないとの保証がないので心配である。市の負担を考慮すべきである。	国の負担割合が漸減していることも要因である。更に、高齢化や失業者の増加によって国保加入者が増大している。医療費抑制のためジェネリック医薬品の普及が大切ではないかとの話もあるので、取り組んでいきたいと考えている。	
		地区センター化は、定着してきていると考えているが、現体制に公民館が行う社会教育分野まで期待されても無理である。江刺で地区センターに移行し時には、公民館活動については生涯学習センターを設置し、社会教育分野を一局に集中してやる構想だったが、現在の生涯学習センターの位置づけや機能が曖昧である。今後、どのように進めるのか伺いたい。	来年度から、市内全地区で地区センター化することになっており、まちづくりは人づくりであるとも言われており、社会教育は重要なことであるので、行政としてどのように拘わっていくのか大いに議論していきたいと思う。	
4	稲瀬	・競馬事業の今後の取り組みと方向性	・地震により水沢競馬場にも被害があった。競馬事業は収支均衡を継続の基準としている。今後も厳しい経営状況が続くが、雇用の問題等あり直ちに廃止は難しい。中央競馬会との	

			<p>連携がされる予定であり経営が改善されることを期待している。本年の水沢競馬場での開催は11月頃となる。</p>	
4	稲瀬	<ul style="list-style-type: none"> ご当地ナンバー事業の方向性 	<ul style="list-style-type: none"> 全国的にもご当地ナンバーは許可されているので、前向きな方向で進めていきたい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 行財政改革の今日の状況、見通しについて 	<ul style="list-style-type: none"> 財政状況は県内で一番厳しい。合併後第1次の行財政改革を定めて実施してきたが、目標の達成度は低かった。これからの第2次の行財政改革に大きなウエイトがかかる。第2次で市長は、今後5年間で100億円の債務を減じたいなどと言っている。これらの達成には市民の理解と協力が必要である。 	
		<ul style="list-style-type: none"> リニアコライダーの市としての方向性について 	<ul style="list-style-type: none"> リニアコライダーは梁川から一関の室根山までの地下に研究施設が作られる構想で、これにより世界から科学者が集まり科学文化都市的なものが作られると言われている。ここ2.3日の新聞報道では岩手県への誘致などについて報道されている。誘致に向けて一関と一緒に取り組んでいく。 	

4	胆沢愛宕	<p>胆沢ダムの完成後、地域の活性化を図る上でダムの活用と他の事業の導入が必要と考える。市において、周辺整備構想もあるが、ダム工事の用地が私有地なため、有効な構想となっていない。用地の地権者と話し合いをして、周辺整備構想をまとめるべきである。</p>	<p>今まで、本格的な議論をした経過がない。国道 397 号、胆沢ダム、ワークステーションの問題は、今後の奥州市の将来の大きな課題でもある。地元議員、あるいは同僚議員と勉強しながら、今後議論していきたい。</p> <p>胆沢支所長からも回答（胆沢ダム周辺整備計画は、いろんな経過を踏まえ現在はインフラ整備となっているが、ソフト事業等をどう仕掛けるかが勝負と考えている。）</p>	
5	水沢南	<p>土地開発公社の借金はいつから増え始めたのか、議員、歴代の市長、職員は知っていたのか。ずっと議論・検討してきたんですか何年間議論しているのか、具体的なタイムスケジュールを作って減らして下さい。</p>	<p>まずは土地が売れない、売る努力をしなかったのが原因である、それで、今度 姉体、田小路の土地を商業施設用地として売却、また市の土地として利息の低い 3 セク債に切り替え 30 年償還という方向で具体的に進めています。</p>	
		<p>前沢区の被害、民間の救済はどう進んでいるのか、義捐金について、岩手宮城内陸地震の時の残りは、どうなっているか。</p>	<p>見舞金等で配分している、前回の 1 億 2300 万円について、県が管理していて、基金としてあったものを 1 次・2 次配分として使っている。農地被害とか 3 次配分として残りを考えている。</p>	
		<p>水沢病院、競馬などの赤字が減らないのか、病院や市役所の職員教育が必要ではないか。</p>	<p>ご意見として、お聞きして良いでしょうか。</p>	

		のか。 シャッター通りをどうするのか。		
5	水沢南	奥州市になってからの市の組織と業務内容を広報などの特集に載せてほしい。	当然そうしなければならないと思います、対応させます。	

教育厚生常任委員会所管に係る意見、要望等

班	会場	質問・意見・提言等	回答(説明)内容	処理の経過等
1	若柳	今回国保税が大きく増額になった。引き上げざるを得ないという結論だったようだが、今後何か明るい話題はないか。	<p>国の負担分が減らされてきていることや、所得の低下により、税を上げると予定通り集めることが出来ず苦勞している。また、医療費が増加している等、問題は様々あるのでご理解を頂きたい。</p> <p>なお、当初一般会計から6億3千万円を繰り入れすることになっていたが、医療費が予定より掛からなかったということで、3億円ほど減額補正されている。この分は後に繰り入れるので、将来的には、負担が低くなるよう市長は考えている。</p>	
		<p>民生委員の立場で防災マップを作ろうと、一人暮らしや障害者の家族のことを役場に行って聞いても、個人情報保護法があり教えてくれない。</p> <p>民生委員は守秘義務が担保されているので、</p>	<p>これまでも議会として市当局に話しをしているが、決まりは決まりと平行線を辿っている。</p> <p>少し幅を持った中で、役所の理解をもらわないと仕事が進まないと思うので、今の意見を踏まえて再度話しをしていきたい。</p>	要望

		せめて民生委員だけには情報提供をしていただけないか。		
1	若柳	水沢病院の問題では、以前に市民も入れた懇談の場があった。次年度もやると約束しておきながら開催されず、関係部局だけで検討している。現在、市民の声を反映出来る場はあるのか。	今、市民を入れた懇談会は多分ないと思う。大事なことなので、要望として市に届けたい。 また、病院事業管理者も新しくなったので、検討するよう要請する。	
2	羽田	健康増進サポーターと保健推進員の違いは何か。	資料を持ち合わせていないので、後ほど解答します。	翌日に回答
		市長に統一要望もしているし、教育委員会の考え方もあるのかもしれないが、とにかく奥州市は堅い。凝り固まっている。具体的に言うと、羽黒山の公園化の話。出羽神社は信仰の対象、支援できないの回答ばかり。文化財と見れば国・県も援助しているのに市はずっと同じ回答で、何の指導もない。いつも地方自治法を出す。何の支援もない。どんどん取り残されている。アテルイ、モレの殺された首塚、枚方市は墓としてふさわしくないとして清水寺になった。しかし枚方市は反省し実行委員会の長に教育長がなったり、自ら紙芝居をやったりと協力している。もう少し頭を開いて欲しい。	委員会でも見た。市長の考えもあるが、ぜひやるべきだと思う。 わかりました。伝えておきます。	

2	衣川	スクールバスを走らせて欲しい。4 kmと言わず改善して欲しい。(衣川、北股線)	子どもたちの安心安全のため教育委員会に働きかける。県道。地区要望も出ている。県に対してみんなの声が届くようにしていきたい。	教育委員会衣川支所長と対応を協議した。
3	佐倉河	ジェネリック医薬品について、薬局によっては余り積極的ではないようだ。医療費節減のためにも、もっと積極的に取り組むべきだ。	議会でもこの問題について議論されており、教育厚生常任委員会で、決算審査の付帯意見として、ジェネリック医薬品の推奨を図るべきとしている。今後も引き続き議会としても声を上げていくべきと感じている。	回答
4	稲瀬	・江刺病院の医師確保等、体制の充実強化をお願いしたい。	・〔要望〕江刺の統一要望	
		・稲瀬の子供の放課後における居場所〔預かり保育〕について、もう一室整備してほしい。	・〔要望〕江刺の統一要望	
		・教育振興運動の協議会がつくられると聞いている。それらにおいて、新たな教育運動の方策を検討してほしい。	・教育委員会に伝える。	
5	水沢南	国保税上げたのは何故なのか、その理由を教えてください。	特別会計となっていて、その収入と支出がつりあわなければならない。合併時まで各市町村でバラバラだった。23年度から統一するために調整してきたのだが、当初から予定以上に支出が多くなってきた。国・県の負担分が減ってきていることや医療の高度化などの影響もある。	

5	水沢南	<p>スポ少で保護者の車で遠征に行くとき事故が心配、市のバスなどは出せないのか。いきいきサロンなど市を上げて推進しているが南地区全体での開催の場合は主催者が送り迎えている。各地域の場合はしないのか。話題に出してほしい。</p>	<p>基本は保護者が送り迎えするのですが、それができないご家庭もあり、車を出せる方が対応している、大会などに部が参加する場合は学校でバスなどを用意している。</p> <p>広い地域を対象にするときはバスなどを出しているかもしれませんが、地域でのサロンは自主的に参加するのが基本と思います。</p>	
---	-----	---	--	--

産業経済常任委員会所管に係る意見、要望等

班	会場	質問・意見・提言等	回答(説明)内容	処理の経過等
1	伊手	<p>松食い虫被害について</p> <p>①被害が年々増加している。駆除の予算はどうなっているのか。</p> <p>②市として、県や国にこれまでどれだけの予算要求をしてきているのか。</p> <p>③被害により枯れた木がそのままになっている。山は水を与えてくれる尊い財産である。もっと大事にして欲しい。</p>	<p>①ほとんどが県や国の補助金で、市独自の単費はほとんどないと思う。</p> <p>②今ここでは不明。市当局に確認して連絡をさせていただきたい。</p>	<p>②要調査・回答</p> <p>③要望</p>
		<p>胆沢ダム周辺の観光開発を強力に打ち出していくべきだ。ひめかゆの客数増加も期待できる。</p>	<p>思うように進まないところもあるが、全力を尽くしてまいりたい。</p>	<p>要望</p>
1	若柳	<p>平泉の世界遺産登録により、観光客が増加してくると思う。受け入れる環境を整備する等、</p>	<p>胆沢ダムも含めた形で、地域のためになるように真剣に考えていきたい。</p>	<p>意見</p>

		前向きな姿勢でメリットを最大限活かし、市が振興を得るような形として欲しい。		
3	梁川	震災後に外に放置していた 22 年産の稲ワラを給与したことにより、牛肉が放射能に汚染されていることが問題となっているが、今年の稲作にいて米・稲ワラが汚染されないのか心配だ。これらの動向について、承知しているか伺いたい。	放射能の影響を確認する意味で、既に収穫をした小麦について測定をするのか農協に確認したところ、測定の義務付けはされていないとのことでした。牛肉の補償についても現時点でははっきりしていませんし、全頭検査を実施して、消費者の不安を解消することが大切だと考えます。稲作については、今後国から基準値等対応についての指針が示されるものと思っています。	
		肉牛の出荷停止の情報があるが、肥育農家ばかりでなく繁殖農家にも、その影響が及ぶものと考えられるので、畜産農家への資金供給と利子補給対策に万全を期していただくよう要望を願いたい。	要望意見として扱う。	
4	稲瀬	・平泉世界文化遺産と藤原の郷の観光事業の今後の取り組み	・平泉との連携は前から話があるが難しいと思われるが、今回、世界遺産登録でその期待が持てる。（出席者の観光物産協会事務局長からコメントあり。）市全体としての取組が必要と思う。 <u>市に確認して回答する。</u>	

建設環境常任委員会所管に係る意見、要望等

班	会場	質問・意見・提言等	回答(説明)内容	処理の経過等
1	伊手	救急医療において、30分以内の救命率が高いので、30分以内の体制を整えて欲しい。	奥州金ヶ崎行政組合として運営しているが、平成26年頃に玉里に分遣署が出来る予定。	
		ハクビシンが非常に増えてきており、農作物を荒らしている。狩猟免許を取りボランティアとして捕獲してきたが、ボランティアだけでは限界があり増加を防げない。 助成金等の検討をお願いしたい。	ぜひ検討していきたい。	要望
1	若柳	使用エネルギーを減少させる意味で、自動車を控え、自転車に切り替えていくことも必要ではないか。そのためにも、自転車が走行しやすい道路環境を作っていくよう検討をして欲しい。	今後のエネルギー政策は、これまでの生活を変えるということも含めて、社会全体で共有して考えていくことも必要である。	要望
2	衣川	職員は東日本大震災において統一した見解の災害対応が必要ではないか。窓口の職員まで意識を徹底して欲しい。たとえば、瓦礫撤去は市の負担はどの程度か。	全額。規定では、その他市長が認めたものがある。	翌日の7月29日日本人に資料を提供し報告済
		総合支所に防災担当がいなかったため防災無線が活用されていない。消防担当と防災担当を一緒に考えないで欲しい。消防担当は仕方ないが防災担当までいなくなった。今は兼任すらいない状況である。	前より後退するのはうまくないとのこと。調査検討したいとの回答だった。これまで慣れて団員が動いてきたこともあり、一人の担当がいれば良いことで、話が出たことを伝える。	住宅火災については防災無線で知らせることになった。

2	衣川	<p>(放射能関連)</p> <p>放射線量の対策はどのようにしていくのか。</p> <p>放射能の対策で、数値を法律的に進めて欲しい。</p> <p>農家は測定して欲しくない。数字を恐れない対策が必要。対策費用は市が被るのではなく、東京電力に請求して欲しい・</p> <p>測定結果についても、自主的に IPK (市職員パソコン内掲示板) の掲示板に載っていたのを印刷している。本庁からは何もこない。</p> <p>30 地点だけでなく費用がかかっても測定場所を増やして欲しい。</p> <p>出来秋を迎える中で市としても測定の補助をお願いしたい。</p>	<p>6月議会の当初、市長は積極的にやる考えはなかったが、議員が多く言ったのでやることになった。</p> <p>定点観測と全学校・幼稚園・保育園を測定している。市は、毎時 3.8 マイクロシーベルト、年間 20 ミリシーベルトを基準にしている。個人としては高いとうが。測定の結果、学校等では数値の高い所には行かないようにさせる、囲うとかしながら、子どもには学校から帰ったらうがい、手洗い、ほこりをはらうことなどを指導している。</p> <p>市で数値が高いところをどうするかはまだはっきり決まっていない。駒形保育園では数値が高かったところを削って上から土をかけた。数値が高いところはこれから除染するなり対応が必要と思うが、市からはまだ出ていない。当面は隔離することのようだ。</p>	
3	梁川	<p>簡易水道での給水を受けおり、降雨によっても水が濁る状態であり、大きな浄水場を持った上水は未だしも、放射能に汚染されていないのか</p>	<p>市内各学校のプールの水の測定結果は、全て不検出であったと聞いている。梁川小学校は簡水からの供給なのかどうか分かりませんが、市</p>	<p>放射能測定箇所については確認できないので当局を確認の</p>

		心配である。これらの情報と道路の復旧工事の見通しについて伺いたい。	の水道水には問題ないとの報告を受けております。 災害復旧には、被害の程度によって国の災害査定を受けなければ復旧に取り掛かれないことになっており、その査定が7月末に終了すると聞いています。国・県補助と市単独の事業によって、逐次工事に着手することになっています。	上、回答頂く事とした。
3	梁川	梁川地区は、他に比較して市道の舗装率が低いので現道舗装の要望をしているが、行政サービスの公平性の確保の上からも格差の是正をお願いしたい。砂利敷きも雪解け後すぐ行うべきではないか。	要望意見として扱う。	
		横断道の開通に合わせ、国道107号線とのインター付近に、道の駅を設置したいのが悲願である。農山村の活性化のため多目的な交流施設として考えているので、あらゆる機会に議員の皆さんに支援を頂きたい。		
		江刺の統一要望としても出しているが、道路・河川環境整備に対して、補助金の嵩上げをお願いしたい。高齢化に伴い、人員の確保が難しくなっている。	議会でもこの問題について取り上げ議論をした経緯もあり、改善に向け取り組んで参りたいと思います。	

4	稲瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・岩谷堂高校の通学路の整備をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩谷堂高校の通学路は、測量が終わって今年度用地買収に入ると聞いている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・北上川堤防の改良保全を求めているので議会としても協力してほしい。特に震災により堤防に 39 箇所の亀裂が入っている。国、市も現場は確認している。改修を急ぐとはいつていただいているが、どのような対応となるのか報告してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〔要望〕 関連する振興会の同意を得て、来年度以降江刺の統一要望に計上 	
4	胆沢愛宕	<p>少子高齢化の中では交流人口を増やすことが必要であり、国道 397 号の開通について、せめて 4 月中の開通が必要ではないか。</p>	<p>今まで、本格的な議論をした経過がない。国道 397 号、胆沢ダム、ワークステーションの問題は、今後の奥州市の将来の大きな課題でもある。地元議員、あるいは同僚議員と勉強しながら、今後議論していきたい。</p>	
5	白山	<p>スマートインターチェンジについて伺います。</p> <p>折居が上がったところにインターチェンジの話がありましたが、その後どのようなになっているのか。</p>	<p>SA・PA を利用した ETC を利用したインターチェンジの話であります。</p>	
5	水沢南	<p>地震のとき水沢公園の駐車場のゲートが開かなくなった、鍵とかの管理はどこか、体育館では担当では無いといわれた。</p>		

5	水沢南	ダイワハウスから寄付された LED の防犯灯について、申請料として1万円必要なのだということだが、市と電力との話し合いで何とかならないのか。		
---	-----	--	--	--

議会に対する意見、要望等

班	会場	質問・意見・提言等	回答(説明)内容	処理の経過等
1	伊手	テレビの議会放送の音量が低い。これまで何回も議会事務局に話しをしているし、えさしわいわいネットにも話しをした。通常のテレビの音量で聞こえるように改善して欲しい。	議会事務局に伝える。	要望
		原発関連の意見書はどの程度協議がされたのか。思いつきだけで決めたり、真っ向から反対するのではなく、幅を持たせながら検討した上で、意見書を出すようにして欲しい。	大きく視野を広げて判断するように、肝に銘じたい。	
		議会改革検討委員会のメンバーは、議員だけか。	今は議員だけでスタートした。今後本格的に報酬や定数などを検討する段階においては、市民の声をどう活かしていくか検討していく。	
		議会改革検討委員会の検討内容に、政務調査費の増額や議員報酬とある。財政が逼迫していると認識しているが、そういう中で増額することは如何がなものか。	しっかり生活出来、議員活動も出来る報酬も考えていかないと特に若い人たちに手を挙げる人がいないのではとの懸念もある。政務調査費も活動を充実させたいとの声が出ているが、いずれもまだ決まったことではなく、検討もされ	

			ていない。	
1	伊手	アメリカ等では、夕方帰ってきてから議会を運営している状況もある。単に報酬を上げたからといって、議員になる人が増えるとは思わない。	議員の役割はどういうものか、トータルの問題として、今後市民の声を聞く機会があると思うので、ご意見をお願いしたい。	
		議会改革検討委員会の検討内容に「議長・副議長の2年交代」があるが、検討する目的は何か。2年交代が議会改革にいいことなのか。議会をまとめる力が低下し、逆に後退するのではないか。	常任委員会が2年交替になっているので、これとの関わりや、他市においても2年や1年としているところが割合的に多い。これから議論したい。	
		議会だよりの検討をして欲しい。 ①「請願の審査内容」欄があるが、ここに提出者の氏名が欲しいのではないか。 ②「賛否の公表」欄に討論内容があるが、発言者の氏名を掲載してはどうか。	議会広報編集委員会に伝え、委員会で検討をしてもらう。	要望
		合併後、行政も議会も遠いものになってきた。高齢化が進んできており、不安感がでてきている。問題点を掘り下げて、どうすれば皆が喜んでくれるかを考えていただきたい。	大変に重要なこと。そういう思いはあるが、期待に応えられていない状況。	要望
1	若柳	定例会の一般質問における時間の割り振りはどうなっているのか。具体的に午前何人、午後に何人と決められているのか。	一定例会中の人数制限はなく、質問をしたければ出来る。1日の質問者は5人としているが、1人あたりの制限時間は設けておらず、概ね1	

			時間を目途としている。	
		一般質問において、自分の時間枠内いっぱいを使い、自身の知識等の主張だけで、これはどうかと思うときがあった。こういう声もあったということで、今後活かして欲しい。	いい質問が出来るように常に切磋琢磨していきたい。	意見
1	若柳	現在財政難という中で、様々な分野で市民にボランティアでやってくれという風潮が強い。そのような中で、政務調査費や議員報酬の増額は必要なのか。市民にボランティアと言うのであれば、議員もボランティアの気持ちで頑張りたいと率直に思う。	政務調査費は、議員活動をする上で調査や勉強をするために必要である。そんなことをしなくてもいいと言うのであれば、ボランティアでも出来ると思うが、はたしてそれでいいのか。 議員は片手間では出来ず、市民のために役立つ、そして大きな見地から大所高所で活動しなければならないと思う。 まだどちらも議論はしていない。議員だけでなく、今後市民の意見も頂きながら決めていきたい。	
		政務調査費の増額は、議員の方々に活躍をしてもらいたいことから賛成する。		意見
2	羽田	請願採択について、採択後は後押しが何か当局にしているのか。	市長の考えがあり、採択になってもすぐ実現はなかなかしにくい。議員が行動することはあるが、奥州市議会として提言をしたことはない。請願は道路が多いが、採択のままとなることが多い。用地取得後に工事を途中でやめているものもある。委員会の総意としてそういうも	

		採択されると期待するが。	<p>のは早く進めるよう話すことはある。特に議会としてというのはこれまではない。地域にとっては1つの請願。地区センター、振興会を中心とした活動にしてほしい。</p> <p>担当課もやらないとは言わない。ただ順番があるのでということ。予算が多くかかるものは10年以上かかる。言って終わりにしているわけではない。ことあるごとにどうなったと声をかけてしている。人事異動もあるので、その際など。</p> <p>用地の提供をされても今はいろいろある。地域の運動としてやっていくことが大事。</p>	
2	羽田	第1回の市民と議会の懇談会の報告の4にある市道垣の内林前線は、懇談会で話が出されて、議会に請願として出されたものか。市長への地域要望があるが、請願の方がスムーズなのか。	地域要望は要望なので、請願という形で出して、紹介議員をお願いするのも、早く進む要因になるかと思う。	
		先程の請願の話に戻るが、地元の議員がいるといいということなら、29日に羽田地区の陳情をするので、どなたか議員に来てもらえれば。	最近の地区の要望には行っていません。地区センターと振興会が中心になってやっているのだから。議員がいたから前に進むということはないかと思う。この地区に議員がいないことを考えなくていい。議員も地元のことだけを考えるのもどうかということになると思うので。	

		<p>用地買収してから 10 何年もたっている。</p>	<p>去年行ってみたのですが、発言する機会もないし、傍聴でした。</p> <p>特に重要事項があれば、議員も行って話すことも大事。どの議員でもいいので声をかけて欲しい。</p> <p>市も議員がいるいないで差別しないと思う。市長を信じて欲しい。今まで呼ばれていなかった。今回日時を聞く機会があったので、今年は行ってみようかと思っはいる。ものによっては請願することもいい。</p> <p>その他に、何か話しておきたいことはないか。</p> <p>例えば、この地区ではZアリーナ近辺の敷地が手をつけられずに放置されているが、野球場にするなり早期にやってほしいと個人的には思っているが。</p>	
3	佐倉河	<p>議会改革のテーマとして、政務調査費の増額とあるが、値上げが前提となっているのか、また現在いくら支給されているのか。</p>	<p>政務調査費は、1ヶ月一人 12,000 円。使わなければ返納することになっている。内容は市のホームページで閲覧できる。</p>	回答
		<p>議員報酬については、上げるなどは言わないが、市民生活をよく分析し、資料等を公開し、市民も議論が出来る形で決定していただきたい。</p>	<p>議員定数や報酬については、議員間でまだ議論されていない。合併当時、特別職報酬審議会で提示された額から 10 パーセント削減された額でこれまで来ている。</p>	回答

3	梁川	この懇談会は、昨年の課題について検討され、反省の上に実施されていると思うが、どう改善されたか。開催頻度が問題であるとすれば、対象地区を合わせての開催も考えられるかどうか。	地域や地区要望お聞きする上では、地区単位の開催が望ましいと考え、3年間で全地区をまわる計画で進めています。開催の頻度については、市政調査会で検討させていただきたいと思っています。	
4	稲瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革における長期、短期の考え方は 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの課題にランク（短期は直ぐに、中期は1年を目処に、長期は今議員の任期中に結論を出す。）をつけて協議を行っている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・市長交代における引継ぎと議会のチェックはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員はどの様な引継ぎがあったか分からない。通常は前年度に出される市長の施政方針を1年経過した6月議会においてチェックする形で進めている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民と議員の懇談会のあり方について（各年ごとに、年度初めに行ってほしい） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との懇談会については、市政調査会に報告の上検討する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革の審議の中で、議員定数は減らすべきではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後議会において検討する項目であり、ご意見として頂戴する。 	
4	胆沢愛宕	議会改革の検討に係る順位について	議員の定数、議員報酬の検討は、次の改選期までに結論を出すことで、現時点ではまだ検討していない。現在、短期項目について検討している。	
		議会改革の検討については、課題の優先順位で行うべきではないか。市民感情からすれば、	短期項目は比較的結論が出やすい項目、長期項目はいろんな意見、考え方があり結論までに	

		通年議会、議員定数、議員報酬が優先課題である。	一定の時間が必要との判断であるが、結論を先送ることなく、改選までに結論を出す。	
4	胆沢愛宕	福島原発に係る意見書が採択されて、関係省庁に送付されていると思うが、どの程度効果があるものなのか。	どの程度効果あるかは分からないが、政府、あるいは議員は、国民、市民の声を無視することはできない。このような声が、どの位出てくるかが、政治を動かすことにつながる。	
		人口減少の中、議員は山間部についてどう思っているか。山間部地域にも人が集まる対策をしてほしい。	複数の議員から、自らの取り組み、希望について紹介があった。	
		愛宕のナエハタのワークステーションに 10 町歩の用地がある。議会として、どの程度関心を持っているのか聞きたい。	ナエハタワークステーションは、渡辺議長が業者の誘致活動を行っているが、公表できる段階に無い。	
		リニアコライダーについて、市議会としてどのような意見、対応をしているのか知りたい。	リニアは、梁川から室根山までの地下を使った研究施設である。平成 5 年から県が誘致に取り組んできており、7 千億円の事業費でその内半分が立地国負担となる。今までは、議会としては状況を見守ってきたが、最近の新聞報道で岩手の復興の象徴として、その立地を後押しする報道がなされており、市議会としても市当局とも連携して立地の活動に取り組んでいく。 【この後、胆沢の中学校統合に係る今までの取り組み、現在の推進状況等について、議員及び胆沢総合支所長から説明がなされた。】	

5	水沢南	<p>報告を聞くと、このような懇談会に人が少ないのは、面白い・魅力ある議員を連れてこなければならないので、そちら側の問題である。</p>	<p>今回の集まりも昼の時間帯、日曜の午前で開催している。次回からも皆さんが集まりやすい工夫をしていきます。</p>	
		<p>民間の給与はどの位か知っていますか、この様な財政状況なら、市職員給与を下げるべき、議員はボランティア精神でやるべき。</p>		
		<p>行財政改革について特別委員会を設置しないことになった理由は。</p> <p>毎年歳入が減っている、自主財源が 29 パーセントなど、今後市債を増やしてしのいでいくのでは、その後市税を上げるつもりか。 財政基盤確立のために一人一人の考えを聞かせて下さい。</p>	<p>今行政当局は行財政改革検討部を作っている。財政改革はしなければならないが、特別委員会の設置まではしなくてよいのではということになりました。 我々には審査権はありますが執行権がありませんので、ご理解いただきたい。(以後一人ずつ考えを述べる)</p>	

まとめ

(1) 各班ごとの意見、要望数

班	会 場	「防災のまちづくり」	自由懇談
		意見、要望件数	意見、要望件数
第1班	伊手地区センター	2	18
	若柳公民館	5	16
第2班	羽田公民館	5	5
	衣川山村開発センター	-	10
第3班	佐倉河公民館	15	5
	梁川地区センター	-	9
第4班	稲瀬地区センター	6	14
	胆沢愛宕公民館	4	8
第5班	白山公民館	8	1
	水沢南公民館	1	11
小 計		46	97
合 計		143	(H22 112)

(2) 分野別の主な意見、要望等

テーマ・各 分 野 別	件数
「防災のまちづくり」に係る意見、要望等	46
総務常任委員会所管に係る意見、要望等	32
教育厚生常任委員会所管に係る意見、要望等	12
産業経済常任委員会所管に係る意見、要望等	6
建設環境常任委員会所管に係る意見、要望等	16
議会に対する意見、要望等その他	31
計	143